

競馬会雜記

附賀茂祭並神能ヨリ抜粋ス

平成十四年八月十九日 北大路元顕之寫

【解題】

上賀茂神社古文書のなかには「競馬記」と云うような競馬に関する事柄ばかりを載せた文書の他に神社の現代版当直日誌とも云うべき「日次記」が数多く残されて居ります。日次記については、五月朔日、五月五日共に「例の如し」として比較的簡単に記述されて居りますが、大正十二年に当時の催方であった藤木保清が記述された「競馬会雜記附賀茂祭並神能」があり、簡単な記述ながら儀式次第の記述もありますので、参考までに披露致します。儀式次第については現在の我々が教えられた内容と幾分相違するところがありますが、これらについては追々と補充する必要があるかと思ひます。尚、この頃からすでに乗尻不足が言われており、昨今の少子化に伴う乗尻不足とは様子が違ふとはいえ、興味のあるところでもあります。

大正十二年度 競馬会雜記附賀茂祭並神能 催方 藤木保清

一、四月二十八日 競馬鬮取ノ件

藤木経衷、藤木顕直、芝 通太郎、山本忠清、松下良久、東辻保道
東辻保三、藤木 顕、藤木秀顕、岡本敏顕、岡本甲三郎、錦部富保
中大路三良、東辻秀保

午後四時三十分ヨリ會議了テ鬮取執行

乗尻中一名ハ本年勤行ノ事ト当初ヨリ決定シアリタル処彼ハ既ニ民家へ
養子トナリタル者ナレバ乗尻員ニ入ル可キモノニ非サル議出ゲー同相計リタル処昔ト今
トハ自然時勢モ変リ居ル折柄凡テヲ旧儀ニ依リ難ク殊ニ乗尻員ノ小數ナル折柄ナレバ
旧神官ノ子孫タル以上仮令養子タルト雖其人一代ハ乗尻申付タルモ差支エナカルベシ
尚乗尻欠員節ハ己ムヲ得ス自然乗馬ヲ依頼セサル可ラス故ニ旧儀尊重ノ主旨ハ結構
ナルモ時勢ニ応シ一社ニ於テ可然相定ムル事ヲ決ス

一、倭文、金津決定ノ件

最初ノ決定ニ依リ中老者四名ニ稽古ヲ命シタル処岡本敏顕ノ熱心ニ稽古シタルモ他ハ諸種
ノ都合アリタル様子ニテ来社スルモノナク自然敏顕ヲシテ倭文ニ決定ス然処金津ノ人選ニ
難儀シタルモ山本忠清引受トナリ漸ク兩者ヲ決定スルヲ得タリ

一、鬮取右了テ引続キ鬮取先ツ足汰次馬次競馬ノ鬮ヲ引カシメ左記ノ通り決定ス

足汰	庄園	競馬	馬毛	馬主名	氏名
一番	倭文	一	左	谷 四郎吉	岡本敏顕
二番	金津	一	右	谷 為次郎	山本忠清
三番	安志	二	左	藤田三之助	東辻信保
四番	土田	三	右	芝垣末吉	岡本清一
五番	福田	八	右	桶口弥太郎	岡本甲三郎
六番	脛長	四	右	宮本千吉	山本信太郎

七番	舟木	ニ	右	大道伝九郎	山本房次郎
八番	宮川	十	左	藤井卯三郎	藤木 顕
九番	淡路	四	左	田中常吉	東辻保道
十番	出雲	六	右	田中岩次郎	山本寅次郎
十一番	竹原	九	右	柴垣寅吉	岡本重太郎
十二番	山田	五	左	岩 倉	錦部富保
十三番	名嶋	七	右	岡山孫次郎	岡本清之
十四番	由良	八	左	辻 亦次郎	東辻保三
十五番	深日	七	左	瀬戸照三郎	藤木秀顕
十六番	伊保	五	右	藤木米次郎	岡本冶三郎
十七番	菊萬	十	右	森田卯之助	東辻秀保
十八番	玉井	六	左	久保半四郎	中大路三良
十九番	星川	九	左	坂田清治	堀内保秀
二十番	小野田	三	左	西川清治	芝 伯太郎

以上午後五時三十分終了後客殿ニオイテ奉幣ノ習礼ヲナシ了テ藤木顕直氏指導乗馬儀式教導アリ了テ解散

四月二十九日

- 一、馬具整理装束整理ヲナシ社務所ニ整頓ス
- 一、馬場ノ埒建引ハ去ル二十三日ヨリ着手
- 一、境内掃除ハ二十七日ヨリ男女ヲ雇入各殿舎屋根並ニ草引掃除
- 一、各殿舎ノ掃除亦二十七日ヨリ取掛ルモ一般廿八九日ニ御簾掛後人夫ヲ以テ清拭セシム
- 一、午後早々ヨリ稽古馬二頭並ニ教師経衷氏、顕直氏ヲ始メ乗尻数名来社ニ付本日特ニ本馬場ニ於テ習礼セシム其稽古実ニ真剣ナリキ、午後五時三十分無滞終了後儀式ニ付藤木兼直氏ヨリ初乗者一同ヘ教導ス

四月三十日

- 一、本日松下良久母堂死去ノ報ニ接シ直ニ乗尻代人トシテ岡本重太郎氏ヲ問合セタル処速早承知セラル
- 一、念人藤木行直氏ハ神事等ノ都合ニ依リ奉仕シ難キヤモ計ラレザルニ付一社ヨリ御祖社宮司ヘ照会有之度旨通知ニ接シタル処代人トシテ芝通太郎氏ヲ依頼スルコトニ決セリ
- 一、本日神前御戸張掛替大提灯据付筧笥整理、庁舎ノ弁備等例年ノ通り
- 一、馬番立表目代以下所要数記入調進
- 一、馬見所所要数取調ヘタル処本年申込者四名増加ニ付俄ニ三十八間ヲ建之ス尚?
- 一、馬場附設ニ付注意事項
- 一、柴鞆竹ノ結束方東西両側反対ナルヲ要ス

競馬足汰所役

神主	木野戸勝隆	雑色	一名	9 淡路国淡路庄	中上	東辻保道	二
所司代	芝 通太郎	雑色	一名	10 出雲国出雲庄	中	山本寅次郎	四

目代	藤木経衷	白丁	一名	11	備前国竹原庄	下々	岡本仙太郎	九	
後見	岡本保善			12	備前国山田庄	中上	錦部富保	二	
肝煎	中大路季栄	東辻保春		13	山城国名嶋庄	下	岡本清之	八	
	乗尻			14	丹波国由良庄	中下	東辻保三	六	
1	美作国倭文庄	上々	岡本敏顕	一	15	和泉国深日庄	下々	藤木秀顕	九
2	加賀国金津庄	上々	山本忠清	一	16	周防国伊保庄	下々	岡本冶三郎	十
3	播磨国安志庄	中下	東辻信保	五	17	伊予国菊萬庄	中	東辻秀保	四
4	能登国土田庄	下上	岡本清一	七	18	尾張国玉井庄	下々	中大路三良	十
5	阿波国福田庄	中下	岡本甲子郎	五	19	伯耆国星川庄	中下	堀内保秀	七
6	美濃国脛長庄	中下	山本信太郎	六	20	三河国小野田	中上	芝伯太郎	三
7	近江国舟木庄	中	山本房次郎	三		田口代	北波羽右衛門		
8	若狭国宮川庄	下々	藤木 顕	八		庁舎預	中大路史顕		
9	淡路国淡路庄	中上	東辻保道	二		馬場申渡	山田利兵衛		
10	出雲国出雲庄	中	山本寅次郎	四		馬場掛	楠前武三郎、他五名		
						馬出し	二名		

救護班 日本赤十字京都支部出張員 男三名、女二名

右之通

大正十二年五月一日 催奉行 藤木兼直
催方 藤木保清、山本善顕

五月一日

一、午前六時三十分ヨリ主典以下人夫等出仕、各建物ノ幕張、救護班ノ天幕張、警官用休憩所一本松行当リニ馬止メ幕張、馬見所ノ札掛リ、庁舎ノ扉開ケ内部ノ設備等例年ノ通り、楠前技手並ニ藤木主典監督ノ下ニ正午前諸弁備リ了ス

一、午前九時四十分月次祭並ニ足次報告祭官司以下勤行

一、正午前ヨリ所役陸續参集、各昼食ヲ饗シ乗尻馬方ノ参集ヲ待ツ、午後二時三十分乗尻馬方諸準備相整ヒタルニ付之ヨリ儀式開始ス、其次第昨年通りナルガ競馬後馬道ヨリノ帰り襷乗ノ節毎年不作法ナルニ依リ井垣ノ辺ニ於テ庄上庄下待合ワセ打揃ヒ襷乗ヲナス事ニ決定セリ、式中落馬シタル者二三有之タルモ己ムヲ得サル次第ニシテ幸ニ負傷者無之午後五時三十分無滞十番ヲ了シタリ、諸役各退出乗尻ハ例ニ依リ庁舎ニ集合ノ上奉行ノ注意ヲ承ル

一、奉行注意事項

- (一) 最初乗馬シテ進出ノ途中神主ニ一揖スルモノ少数ナリシハ礼ヲ失シタルモノナリ
- (二) 毛付後正柱ノ芝ヲ欠カザルモノ少数アリ、之ハ馬方ノ未知者アリテ自然通過シタ者モアル可、ケレ共斯クテハ儀式作法ノ乱ルルモノナリ
- (三) 鳥居西柱前ニ於テ一拜ヲナサザル者アリタリ
- (四) 庄上庄下ノ襷乗不良ナルモノアリ

以上之ヲ要スルニ現今乗尻ハ乗馬ノ事ノミ没頭シ少シモ他ヲ顧ミサル弊風アリ、之レ誠ニ神事

トシテ憂ウベキ次第ナリ、凡モ古来賀茂競馬ハ全世界ニ類例ナキ古式競馬ナルガ故ニ其式作法ヲ研究セン為遠国ヨリ来社セル者アリ、亦古風保存上ニ於テモムシロ乗馬ヨリ儀式ヲ厳守セザル可カラス、注意ヲ要ス

一、菖蒲ノ神事ハ人員例年相揃ハザルヲ遺憾トス、故ニ若シ欠席セントスレバ本日代人ヲ依頼セラレ度シト計リ当日東辻保三ノミ代人願出タリ

一、装束上ゲニ関スル協議

催方ヨリ装束上ゲノ儀ハ四月口可然ヤ或ハ例年ノ通り当日行ウベキヤヲ計リタル処何レモ当日ニ願度旨答申アリタリ、故ニ当日午前七時氏神参拜ノ為午前八時交付ノ旨申渡セリ

以上了テ解散

一、所役以下社務所ニ於テ夕飯饗応午後八時退出

五月二日

一、昨日足汰使用ノ装束整理ノ為メ臨時女子三名ニ依頼シ雇善頭監督ノ下ニ整理ス

一、主典以下前日使用ノ馬具破損ノ有無ヲ点検整理ス

一、足汰見分ノ結果ニ依リ（前期番立表参照）競馬番組ヲ調整ス

一、五日ニ要スル所握舎建引岩太郎ヲシテ畧々従事

一、五日粽用檜皮ヲ準備シ置ク事

五月三日

一、競馬会ニ要スル左記各自分担整備ス

一、競馬番立表調進、念人用ニハ中奉書、神主所司日代各一半紙、奉行、馬具受渡、庁舎預リ各一催方、肝煎、後見、馬方各ニ葉宛木半紙

一、乗尻廻文左、右方各一通

一、人麻二十一串 二体

一、陰陽代用祓串二、馬祓串二、乗尻各自祓串

一、大奉幣二本

一、左右念人並ニ陰陽代用笥篋三

一、諸役勤番表 奉書六枚続キ

一、所役ニ要スル装束整理

人夫ヲシテ菖蒲三百茎ヲ採取セシム、又マコモ若干採取セシム

社僕ヲシテ粽用檜皮ヲ整理セシム

五月四日

一、人夫ヲシテ石橋竹飾ヲナサシム

一、主典以下頓宮御帳台組立並白幕御簾張り

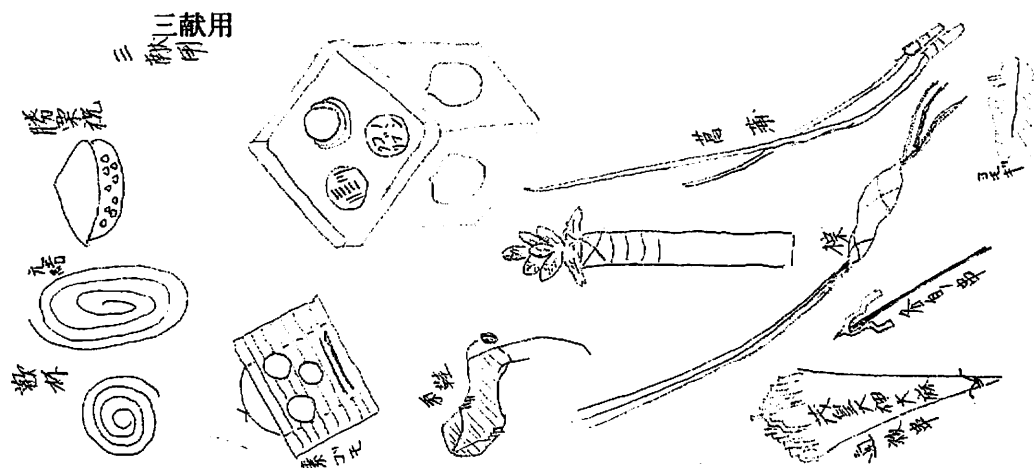
一、雇二名ヲ以テ摂社御掃除

一、主典以下菖蒲ノ根巻（本宮摂末社分）並ニ本宮へ御屋根草四

一、神宝庫ヨリ左階下用鐘並ニ鞆ヲ取出シ準備

一、主典以下マコモ檜皮粽（本宮撰末社並ニ乗尻所役ニ対スル分）調新

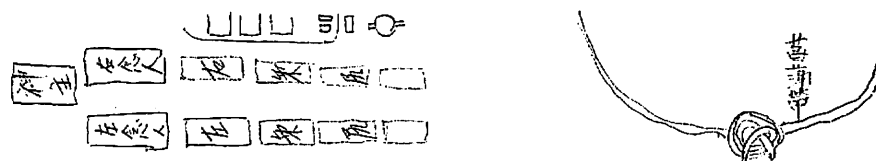
一、献勤杯用勝栗、昆布、熨斗、干鰯ヲ切り揃ウ



一、乗尻用装束長持ヲ人夫ヲシテ庁舎ニ運バシメ、藤木、山本両君ヲ以テ物品点検、前記画図ノ諸物品ヲ各箱ニ加ヘ明日交付ノ準備ヲナス

一、一方勅使舎ニ於テ所役装束ヲ点検整理シ交付準備ヲナス

一、庁舎内ニ神主以下ノ畳ノ準備ヲナス



一、庁舎預所ニハ八足案一、大御櫃二、マナ板二、土器小数十枚

御酒二升、其他諸要品ヲ弁備、三宝長柄鉾子、白紙鉄キリ糸針

一、劍鋒ノ事馬場三頓宮五ハ例年ノ通り、別ニ本年ヨリ楼門前ニ 二加ウ

競馬会所役表

頓宮着座	神主	木野戸勝隆			
	所司代	市 貞顕			
	目代	山本直行			
		瀬古口芳夫			
	神人	四名			
		雑色	一名		
		白丁	一名		
	陰陽代	岡本清淳			
		小預代	雑色	一名	
			白丁	一名	
	預代	瀬古口芳夫			
左念人	芝 通太郎	扶持	座田氏正	雑色	一名
				白丁	一名
右念人	田口顕端	扶持	藤木光直	雑色	一名

白丁 一名

後見 藤木経衷、岡本保善
肝煎 東辻保春、中大路季栄

乗尻

一番	左勝	岡本敏顕	六番	左持	中大路三良
	右負	山本忠清		右持	山本寅太郎
二番	左持	東辻信保	七番	左勝	藤木秀顕
	右持	山本房次郎		右	岡本清之
三番	左	芝 考清	八番	左	東辻保三
	右勝	岡本清一		右勝	岡本甲子郎
四番	左勝	東辻保道	九番	左勝	堀内保秀
	右	山本信太郎		右	岡本仙太郎
五番	左勝	錦部富保	十番	左勝	藤木 顕
	右	岡本治三郎		右	東辻秀保

庁舎預 山本寅二郎
 馬具受渡 山田和兵衛
 警固方 堀井金次郎
 馬場掛 楠前武三郎

白丁 五名
 馬出し白丁 二名

催奉行 藤木兼道 白丁 吉之助
 催方 山本善顕
 藤木保清

衣紋方 水谷秀夫、社務所詰 市 貞顕、瀬古口芳夫（他三名）
 勤番所詰 岡田司正、成瀬安麿
 馬見所接待掛 高田茂、黒田平七、前田平八
 赤十字社救護班掛 奥田末吉

以上

五月五日

- 一、午前六時主典以下出勤、藤木、山本催方ハ庁舎御所舎其他建物ノ設備別図ノ通り
其他ノ者ハ神饌品弁備並ニ掃除等諸設備ニ従事
- 一、朝食ハ一社賄ノ事
- 一、午前七時三十分ヨリ乗尻一同久我神社社参ノ処参集遅刻者有之、漸ク九時三十分庁舎参集
セリ
久我神社参拝ハ単ヲ除キ当帯は白無地ヲ使用セシム
- 一、漸ク午前十時乗尻等打揃ヒタルニ依リ之ヨリ菖蒲ノ神事
神幸 先導瀬古田芳夫主典、社務代市主典。雑色仙吉、乗尻一同参拝了テ本宮へ社参了テ
撰社参拝了テ庁舎ニ於テ奉幣習礼了退出
- 一、競馬会祭午前十一時宮司以下土舎ニ於テ修祓了テ神殿奉仕例ノ通り

此日伶人五名雇入無滞勤行

一、競馬所役十一時前後ヨリ続々参集官司以下一社賄ニテ昼食

一、午後一時乗尻一同学校講堂ニ参集、午後二時乗馬漸ク打揃ヒ例ニ依リお役場附近ニ於テ馬立了テ扶持馬被ヒヲナシ了テ御馬飼ヲ催方ヨリ報シ乗尻一同乗馬

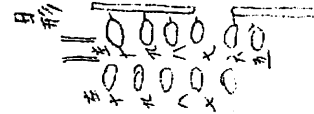
先ツ倭文庄ヨリ庁舎ニ出仕左方右方順次着座、次ニ催方ノ報ニ依リ左方右方ノ念人庁舎ニ出仕直ニ大麻ヲ通ス了テ三献ヲ通シ祝勝栗ヲ乗尻ニ通ス、例ニヨリ金津ハ最後ニ之ヲ受ク

次 陰陽大夫進テ念人以降ヲ修祓

次 乗尻一同手洗ノ儀アリ了テ庁舎南側縁前ニ馬飼ヲ待ツ、此間肝煎馬立ヲナス

次 倭文ヨリ進出切壁前ニ於テ乗馬

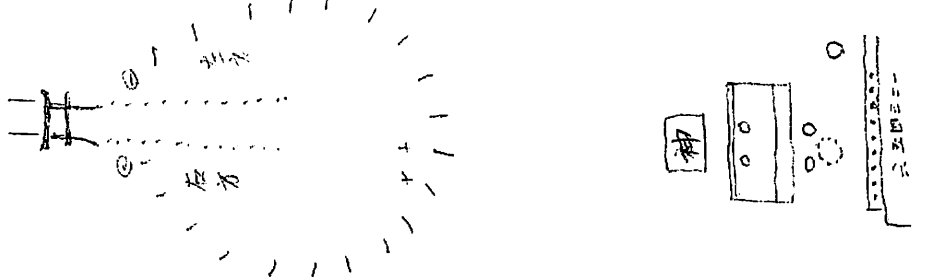
次 倭文ヨリ進出渡橋後梶田社ヲ拝シ了テ月形



次 一ノ鳥居前ニ於テ月形ヲ作り一同同時ニ下馬、左右対揖ノ後鞭持ヲ従へ社参行進

次 左右念人切芝ヨリ下向乗尻ヲ向フ、兩者立停リ対揖、了テ念人先導前進時ニ陰陽大夫雑色白丁ヲ従へ下向

次 陰陽ノ祓例ノ通り了テ前進楼門内ニ至リ（陰陽大夫ハニノ鳥居ニ於テ別テ社務所ニ入ル）左右念人以下対揖了テ左方ハ神前ニ進ミ右方ハ西回廊ニ着座



次 奉幣例ノ如シト雖モ倭文以下ノ着座反対ニシテ実ニ見苦シキ事ナリキ、念人ニ於テモ其作法未熟ナリキ、右方念人以下は能ク礼ニ叶ヒタリ

次 退出念人以下ニノ鳥居前ニ於テ対揖了テ念人ハ握舎ニ、乗尻ハ馬道ヨリ埒ニ入り乗馬一番以下乗り下リ各々休幕ニ入ル

次 競馬一番二番ノ双ハ能ク勤メタリ、三番ハ能ク勤メタルモ止メロニ於テ馬狂奔シ乗尻ハ落馬失神左足鋤関節ヲ捻挫シ直ニ救護班ニ収容、四番五、六番共ニ良好ナル競馬ナリキ七番ノ双馬出ノ桜、桐ノ木間ニ於テ右方ノ馬足滑リテ前膝ヲ屈シ為ニ乗尻ハ転倒落馬脳部ヲ埒竹ニ打ち左肩甲骨ヲ痛メタルニ付キ之亦救護班ニ収容、八、九番は都合宜ク駈ケタルモ十番ニ於テ右方ノ馬背ヲ張り出發セス後見注意ヲ与へ種悶着ノ末入直シヲ命シタルモ前同様ナルニ依リ左方ノ勝ト定メ終了セリ、然ル処本日ノ馬出シ方法儀式ニ叶ハサル点アリ、即チ追馬ヲ先ニ出シ又ハ先馬ヲ後ニ出スレ全ク左右後見儀式觀念ヲ没却シ普通競馬ノ如ク只管勝敗ノ決ヲノミ得ニ事ヲアセリタルモノノ如クニシテ乗尻一同遺憾トスル処ナリキ

要スルニ諸役以下熱心ナル勤務振りハ之ヲ諒トスルモ一般ヨリ評スレバ本日ノ競馬ハ成績不良ニシテ其元因（原因？）ハ一同習礼ノ不足ヨリ来レルモノナリ、将来注意ヲ要スル次第ナリ

次 神主両念人以下御所舎東側芝生上ニ於テ対揖了テ庁舎ニ昇リ勸杯了テ神主念人退出、乗尻

ハ尚数献、時ニ催奉行ヨリ挨拶アリ、本日勝者持者ニ賞金ヲ下付特ニ本年ヨリ金津ニハ倭分同様賞金ヲ交付ス

左 幸
.....○.....

○神王

次 催方ヨリ粽ヲ交付シ挨拶アリ了テ刀禰物通りノ由ヲ告グ

次 装束上ケノ時日明六日午前九時ト協議シ一同退出

所役手伝衆ハ社務所ニ於テ夕飯ヲ饗シ午後八時五十分無滞終了解散ス

人足ハ岩太郎以下能ク活動シ諸設備ヲ取片付、本夜庁舎夜警トシテ二名男ヲ雇入ル

一、社神餞料理人来ラス不便ヲ感シタリ

五月六日

一、午前九時ヨリ藤木、山本両催方は庁舎ニ於テ装束ヲ各乗尻ヨリ点検受領

一、臨時堀内みね、山本きく、久松とくヲ依頼シ装束ノ整理ニ従事セシム

一、瀬古口主典以下各殿舎御簾脱シ並ニ祭器具取片付ニ従事

一、藤木主典ハ一社ヲ代表シ昨日負傷者岡本甲子郎、岡本清之ノ兩名へ見舞トシテ金一封（拾円也）宛ヲ持参懇ニ見舞タル処何レモ打嬉ヒタリ、而シテ臨時地方医ニ掛リタル処大シタル事モ無之様子ナルモ尚ホ念ノ為明日府立病院ニ至リ充分診断相受ク可様申聞カセリ

一、本日装束上ゲ終テ乗尻一同へ謝儀トシテ金八円五十銭ヲ交付ス

一、来賀茂祭乗尻左記ノ通り決定ス

山本忠清、堀内保秀、岡本敏顕、芝孝清、山本信太郎、山本寅太郎、山本房次郎

藤木 顕、藤木秀顕、岡本清一、岡本冶三郎、東辻信保、錦部富保、岡本孝三、東辻秀保

